

はじめて
美術館に
いきます。

ソーシャル ストーリー
Social Story

よこはまびじゅつかん
横浜美術館



きょう よこはまびじゅつかん い ひ
今日は、横浜美術館へ 行く日です。

わたしは、このストーリーを読むことで

びじゅつかん びじゅつかん なか す かた
美術館のこと、美術館の中で できることや 過ごし方について

し かんが
知り、考えることができます。

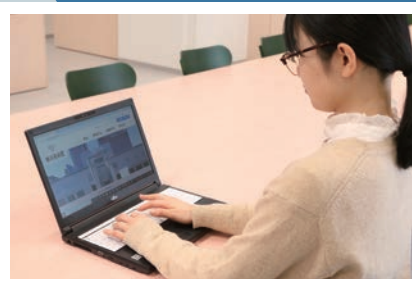
それでは、美術館へ 行きましょう！

しゅっぱつ

1

じゅんび
準備します

2~5 ページ



3

てんじしつ
展示室に
はい まえ
入る前

12~19 ページ

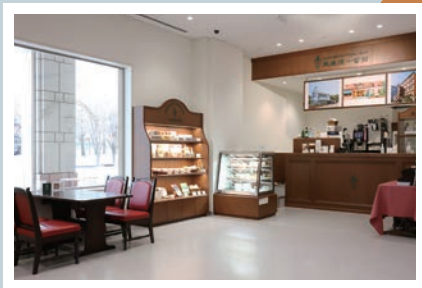


2

で
出かけます

6~11 ページ





5

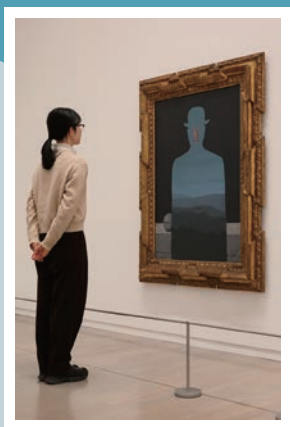
さまざまな
す かた
過ごし方

26~32 ページ

4

てんじしつ なか
展示室の中

20~25 ページ

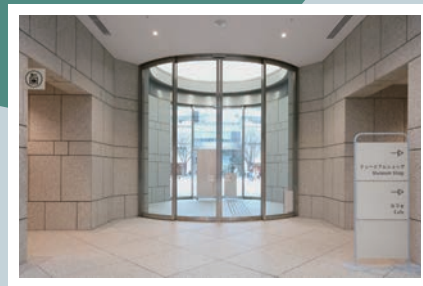


でぐち

6

さいごに

33~34 ページ



美術館って どんなところ？

よこはまびじゅつかん みぎ さくひん
横浜美術館には、右のような作品が あります。

にほん ほか くに
日本や他の国でつくられた

やく ねんまえ よこはまかいこう げんざい え ちようこく
約 170 年前の横浜開港から 現在までの絵や彫刻などが、

やく まん てん
約 1 万 5000 点 あります。

なか
この中から

きせつ えら てんじ てん
季節やテーマごとに選んで 展示しています (コレクション展)。

まか さくひん か
また、ある期間だけ 他の美術館などから 作品を借りて

てんらんかい きかくてん
展覧会が おこなわれることもあります (企画展)。

びじゅつかん なか てんじしつ さくひん み
わたしは、美術館の中にある「展示室」で 作品を見ることができます。

3ページにある 写真①から④の説明文です。

さくひん ひと さくひん なまえ さくひん とし
作品を つくった人 《 作品の名前 》 作品が つくられた年
という 順番で書かれています。

①ルネ・マグリット 《王様の美術館》 1966 年

②ヴァシリー・カンディンスキー 《網の中の赤》 1927 年

③コンスタンティン・ブランクーシ 《空間の鳥》 1926 年 (1982 年の鑄造)

④片岡球子 《緑蔭》 1939 年

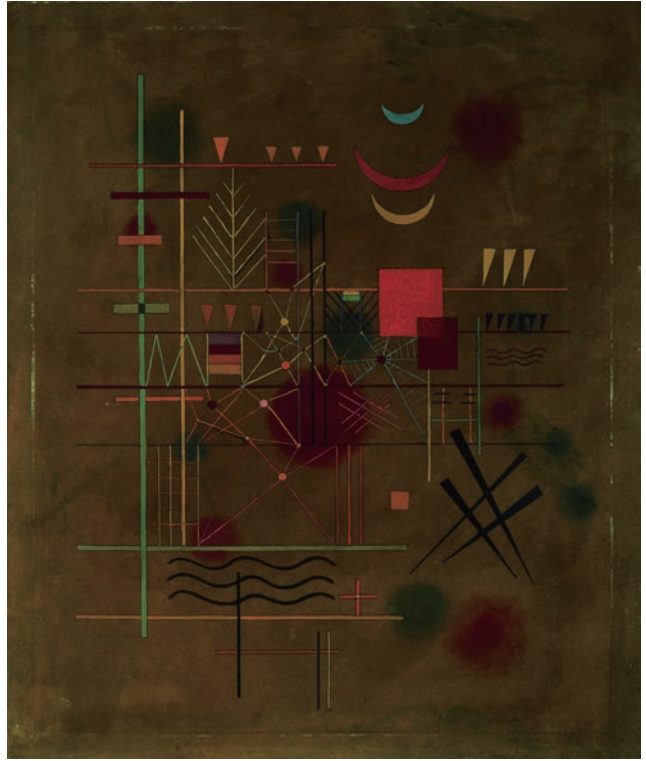
4

5

6



①



②



③



④

美術館へ行く前に やること



美術館へ行く前に、ウェブサイトを見ます。

ウェブサイトでは、

展覧会やイベントなどの情報を 知ることができます。

行く前に、開いている時間と お休みの日と 行き方を 調べます。

展覧会やイベントは、有料のチケットが 必要な場合と

無料で見られる場合があるので、ウェブサイトを よく確認します。



よこはまびじゅつかん
横浜美術館の ウェブサイト (<https://yokohama.art.museum/>)

ウェブサイトを^み見ても わからないときや

かくにん
確認したいことが あるときは、

次の^{れんらくさき} [連絡先]^きに 聞くことができます。



よこはまびじゅつかん
横浜美術館
ウェブサイト

^{れんらくさき}
[連絡先]

でんわ
電話：045-221-0300

といあわ まどぐち
お問合せ窓口：<https://yokohama.art.museum/contact/>

じゅうしよ かながわけん よこはまし にしく
住所：〒220-0012 神奈川県 横浜市 西区

みなとみらい 3-4-1



といあわ まどぐち
お問合せ窓口ページ

えき びじゅつかん い かた 駅から美術館への 行き方

びじゅつかん よこはま
美術館は、横浜のみなとみらいに あります。

びじゅつかん い かた とお
美術館への行き方は、2通りです。

せん えき
みなとみらい線のみなとみらい駅と

せん ち かてつ さくらぎちょうえき い
JR線と地下鉄の桜木町駅の どちらから 行きます。

①

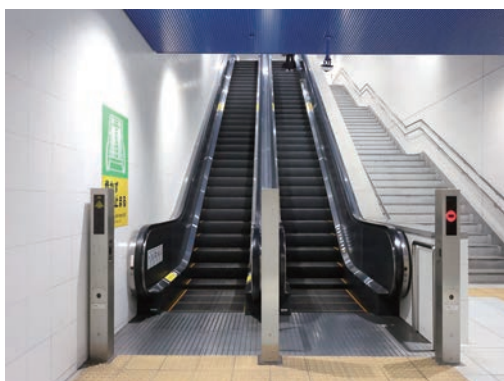


えき い ばあい
みなとみらい駅から行く場合は、

きたかいさつ で
北改札を出て

ばん でぐち む
「3番出口」に 向かいます。

②



ひだりがわ
左側にあるエスカレーターで

ちじょう あが
地上まで上ります。

③



さんえー でぐち ちじょう で
3 a 出口から 地上に出ると

ひだりがわ
左側に「マークイズみなとみらい」の
いりぐち
入口があります。

かいだん つか
階段かエレベーターを使って

いりぐち い
入口まで行きます。

④



「マークイズみなとみらい」のビルの
いりぐち はい む がわ でぐち で
入口に入って 向かい側の出口から出
ます。

⑤



とお おお ひろば で
通りぬけると 大きな広場に出ます。

しょうめん み たてもの
正面に見える建物が

よこはまびじゅつかん
横浜美術館です。

1

2

出かけます

3

①



さくらぎちようえき い ぼあい
桜木町駅から行く場合は、

かいさつ で
改札を出て

よこはま
「横浜ランドマークタワー」に

む
向かいます。

うご ほどう お の
「動く歩道」の終わりまで 乗ります。

②



よこはま いりぐち
「横浜ランドマークタワー」の入口が

あります。

なか はい みぎ む
ビルの中に入って 右に向かって

いちばん ある
一番おくまで 歩きます。

③



じどう で
自動ドアを出て エスカレーターを

くだ おお
下ると 大きなぐるぐるした

ぎんいろ ちょうこく
銀色の彫刻が あります。

④



ちょうこく した ひだり ま
彫刻の下を左に曲がり

ある
まっすぐ歩きます。

はし ひだりがわ
橋をわたり 左側にあるのが

よこはまびじゅつかん
横浜美術館です。

4

5

6

びじゅつかん とうちやく
美術館に 到着！



ひろば よこ なが たてもん よこはまびじゅつかん
広場のおくにある 横に長い建物が 横浜美術館です。

びじゅつかん たか た
美術館のまわりには、高いビルが建っています。

びじゅつかんない
美術館内マップ



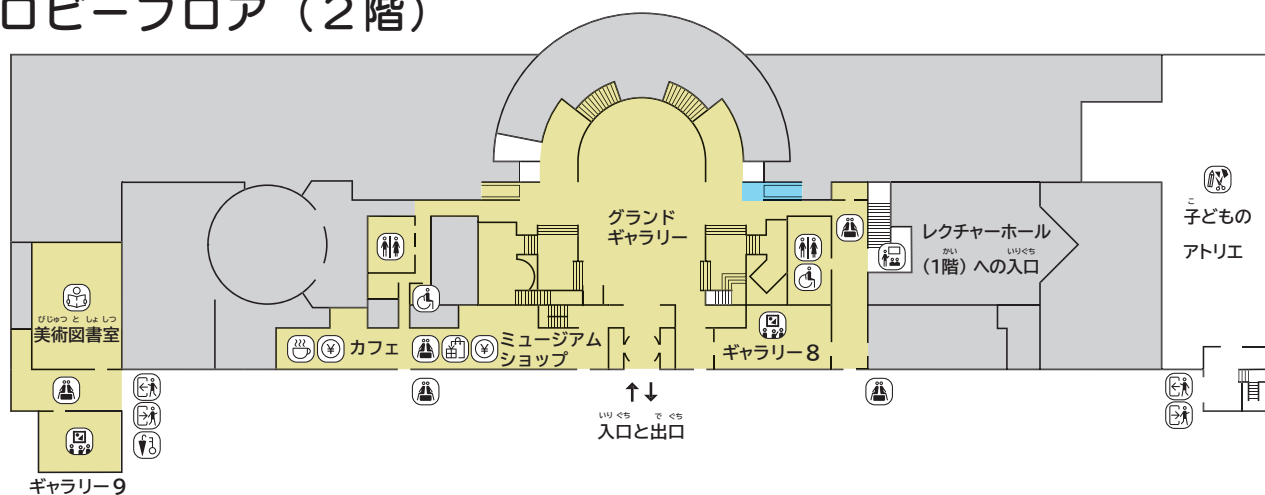
びじゅつかん たてものかいだ
美術館の建物は 8階建てです。

おもはいばしょ かい かい
主に入る場所は ロビーフロア（2階）と3階です。

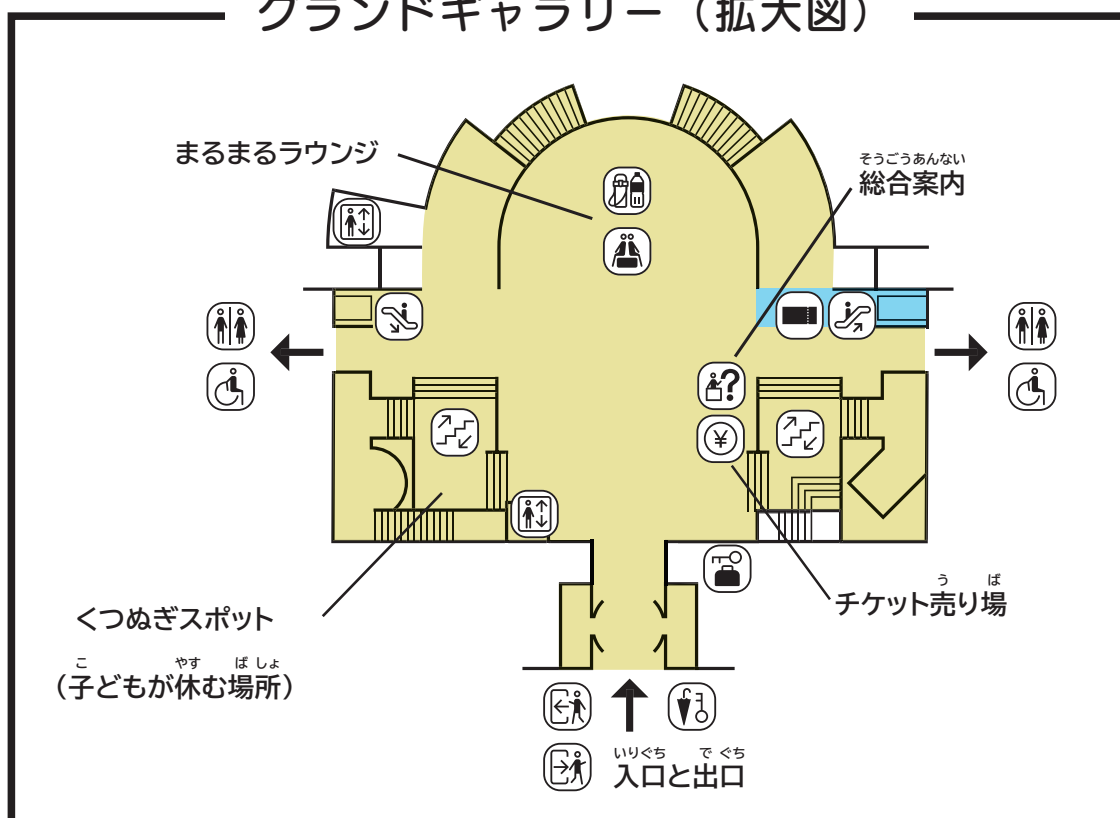
きいろ
黄色でぬってあるところは、無料で入れる場所です。

あおいろ
青色でぬってあるところは チケットなどが必要な場所です。

かい
ロビーフロア（2階）



かくだいず
Grand Gallery（拡大図）



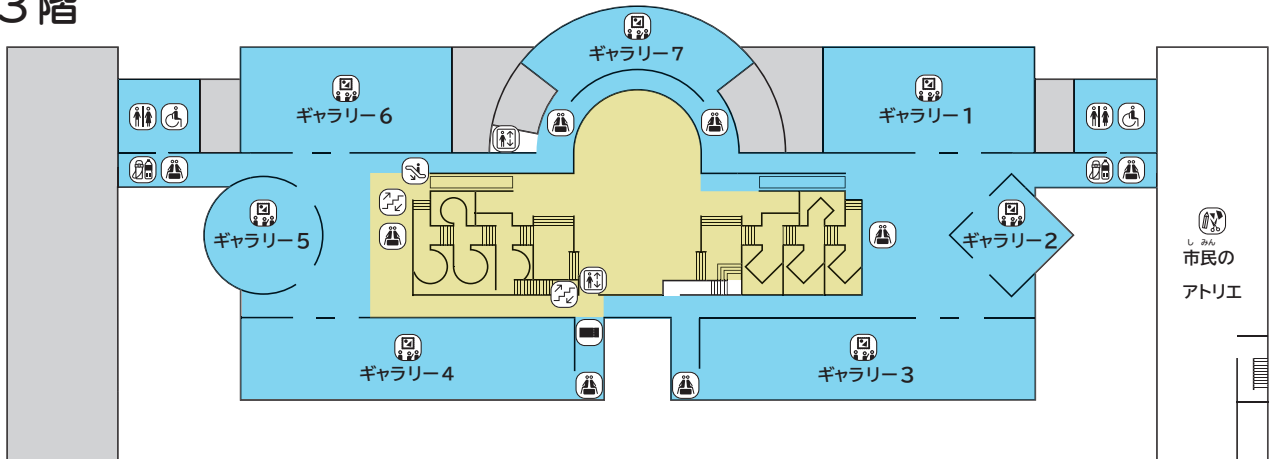


よこはまびじゅつかん てんじしつ
横浜美術館では、展示室のことを「ギャラリー」と呼びます。



こ 子どものアトリエ と し 市民のアトリエ は、
プログラムにさんか 参加するときだけはい 入れます。

かい 3階



いりぐち でぐち 入り口と出口
そうごうあんない 総合案内
エスカレーター
エレベーター
かさ立て

トイレ
バリアフリートイレ
コインロッカー
かね はら ぼしよ お金を払う場所
かいだん 階段

の もの の ばしよ 飲み物を飲む場所
チケットを見せる場所
やす ぼしよ 休む場所
ばいてん 売店
カフェ

てんじしつ 展示室
そうさく ぼしよ 創作をする場所
はなし き ぼしよ 話を聞く場所
ほん ぼしよ 本がある場所

美術館への入口と かさ立て



美術館の入口は、横長の建物の中央にあります。

入口があるのは、ロビーフロア（2階）です。



長いかさは、作品にあたると危ないので持ちこみません。

長いかさを持っているときは

入口にあるかさ立てに かさを入れ、かぎをとります。

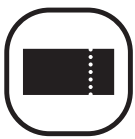
かさ立てのかぎは、なくさないように

ポケットや かばんの中に しまいます。

チケット売り場



ロビーフロア (2階^{かい})



売り場のスタッフに見たい展覧会の名前を伝えて

チケットを買って、受け取ります。



わたしが受け取ったチケットは、なくさないようにします。

混雑しているときは、自分の順番がくるまで

列に並んで待ちます。

無料で見られる場合は、チケットを買わずに入ります。

そうごうあんない

総合案内（インフォメーション）

(2階^{かい})

びじゅつかん
美術館には、わたしたちをむかえてくれる

さまざまなスタッフが^{はたら}働いています。

スタッフは^{なふだ}名札を付けています。

かくにん
確認したいことがあるときや、^{たす}助けが^{ひつよう}必要なときは

「^{そうごうあんない}総合案内」をはじめ

びじゅつかん
美術館にいるスタッフに ^たたずねることができます。

そうすれば、そのスタッフは よろこんで ^{こた}こたえてくれます。

びじゅつかん はたら
美術館で働いている スタッフたち



そうごうあんない たてもの なか
総合案内など、建物の中にある スタッフ



けいび
警備スタッフ

げんかん

玄関ロビー（グランドギャラリー）



びじゅつかん なか はい
美術館の中に入ると、

てんじょう たか
天井が高い「グランドギャラリー」があります。

びじゅつかん なか
グランドギャラリーをはじめ 美術館の中は、

こんざつ
混雑していたり、さわがしいことも あります。

ひと ころ
人にぶつかったり、転んだりすると ケガをするので

あ
ゆっくり歩きます。

グランドギャラリーの^す過^{かた}ごし方



「グランドギャラリー」は ^{むりょう}だれでも^{はい}無料で^{ぼしよ}入れる場所です。

^{さくひん}作品を^み見たり ^{すわ}いすに^{やす}座って^{やす}休んだり ^{おしゃべり}おしゃべりができます。



^{はんえんけい}半円形のスペース「まるまるラウンジ」では、

^の飲み物を ^の飲むことができます。

トイレ



トイレへの入口（2階）



さまざまなトイレの中



トイレは、ロビーフロア（2階）の グランドギャラリーの両はしと
3階の展示室の近くに あります。



バリアフリートイレもあります。

かばんを あずけるとき（コインロッカー）



かばんは、ロビーフロア（2階）にあるコインロッカーに
あずけることができます。

コインロッカーを使えば、
かばんを持たないで展示を見ることができます。

コインロッカーの中に かばんを置いたら、
100円玉を入れて かぎを閉めます。

かぎをぬき取り、なくさないように

ポケットや おさいふの中に しまいます。

100円玉は かぎを開けるときに もどってきます。

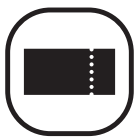
てんじしつ はいかた
展示室への入り方



きかくてんいりぐち かい
企画展入口 (2階)



てんいりぐち かい
コレクション展入口 (2階)



これから、作品を見に 展示室へ 行きましょう！

チケットが必要な展示室は、

「企画展」(3階)と「コレクション展」(3階)です。

それぞれ入口が 分かれています。

どちらの入口も ロビーフロア (2階) に あります。

てんじしつ い
展示室へ 行くとき



エスカレーター (2階)^{かい}



エレベーター (2階)^{かい}

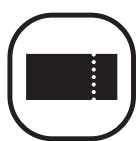


「企画展」の展示室 (3階)^{かい}へ 行くときは、
エスカレーターか エレベーター^{つか}を使って 上ります^{あが}。



「コレクション展」の展示室 (3階)^{かい}へ 行くときは
階段^{かいたん}か エレベーター^{つか}を使って 上ります^{あが}。





それぞれの入口^{いりぐち}には、スタッフがあります。

わたしは 展示室^{てんじしつ}についての説明^{せつめい}を スタッフから聞き^きます。

スタッフにチケットなどを見^みせてから、入^{はい}ります。

4

展示室の中

5

6

てんじしつ
展示室



コレクション展 (3階)



てんじしつ え ちょうこく さくひん
展示室では、絵や彫刻などの たくさんの作品を
み
見ることができます。

わたしが す きなタイミングで き になった作品をみます。

てんじしつ なか 展示室の中で さくひん み 作品を見るとき



きかくてん かい 企画展 (3階)



てんじしつ なか こんざつ 展示室の中は、混雑していることも あります。

また、ひと にも さくひん にも ちょうどよい光にするために

すこ くら 少し暗いところも あります。

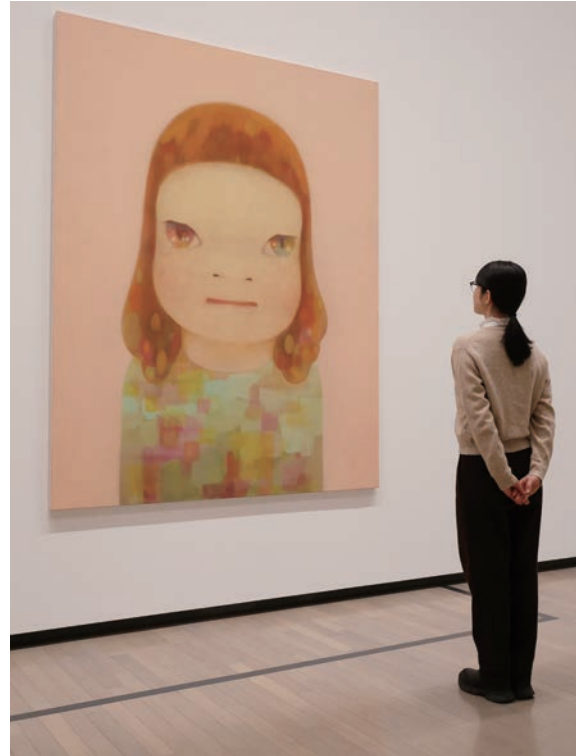
わたしは まわりのひと や作品などにぶつからないように

ゆっくり歩きます。

リュックサックをせ お 背負っている場合は、ま え 前にかかえてある 歩きます。



はな 話すときは、ちい こえ 小さな声で はな 話します。



さくひん たいせつ
作品は、とても大切なものです。

よごれたり、こわれたりしないように さくひん さわ 作品には触りません。

そのため、床に「さく」や「テープ」などの目印が めじるし あります。

しゃしん めじるし さ み
写真のように 目印より うしろに下がって見ます。

さくひん はい
作品が「ガラスのケース」に入っているときや

だい うえ お
「台」の上に 置かれているときは、

ガラスのケースや だい さわ み
台に触ったり、よりかかったりしないように見ます。

やす ばしよ
 休む場所



(2階)
かい



(3階)
かい



(3階)
かい



てんじしつ さくひん み いがい
 展示室で作品を見ること以外にも

びじゅつかん なか す かた
 美術館の中では、さまざまな過ごし方ができます。

やす
 休みたいときは、

びじゅつかん すわ
 美術館のさまざまなところにある いすに座って

やす
 休むことができます。

こ どもが やす ばしょ 子どもが休む場所（くつぬぎスポット）



(2階^{かい})



ロビーフロア（2階^{かい}）にある「くつぬぎスポット」は、
こ どもが やす ばしょ
子どもが休むための場所です。



ちい さいテーブルといすが置いてあります。

ほん 本もあるので、読むことができます。

おうちのひと など、おとな といっしょに はい 入ります。

ほん ばしょ びじゅつ としよしつ
本がある場所（美術図書室）



かい
 (2階)



ロビーフロア（2階）にある「美術図書室」は、

てらんかい さくひん ほん ばしょ
 展示会や 作品についての本がある場所です。

き ほん よ
 気になった本を読むことができます。

よ ほん もと ばしょ かえ
 読んだ本は、元の場所に返します。



びじゅつとしよしつ よ ほん
 美術図書室で 読むことができる本

カフェ



ば しゃみち じゅうばんかん よこはまびじゅつかん きっさしつ かい
馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室 (2階)



ロビーフロア（2階）にあるカフェは、

しよくじ ちゃ の ばしよ
食事をしたり、お茶やコーヒーを飲んだりする場所です。



おなかがすいたときは、

カレーライスやサンドウィッチ、ケーキなどを 楽しむことができます。

ばいてん
売店 (ミュージアムショップ)



ミナトかい
MYNATE (2階)



ロビーフロア (2階) にかいにある「ミュージアムショップ」は、

てらんかい さくひん
展覧会や 作品のポストカードや グッズなどを

う みせ
売っているお店です。

みやげ か
お土産を買うことができます。

そうさく ばしょ
創作をする場所（アトリエ）



こ かい
子どものアトリエ（2階）



し かい
市民のアトリエ（3階）



ロビーフロア（2階）にある「子どものアトリエ」と

3階にある「市民のアトリエ」では

絵を描いたり、工作をしたりするプログラムに

参加することも できます。

プログラムに参加したい場合は、ウェブサイトから申し込みをします。

はなし き ば しょ
話を聞く場所（レクチャーホール）



(1階^{かい})



1階^{かい}の「レクチャーホール」では、

てらんかい びじゅつ はなし き
展覧会や 美術についてのお話を 聞くことも あります。

いりぐち かい
入口は ロビーフロア（2階）にあります。

4

5

さまざまな
過ごし方

6

さいごに

でぐち
出口



でぐち かい いりぐち おな
出口は、ロビーフロア（2階）の入口と同じところです。

コインロッカーや ^たかさ立てに

かばんや ^{ばあい}かさをあずけている場合は、^{わす}忘れないで^も持ち帰ります。

1

2

3

4

5

6
さいごに

び じゅつかん たの
美術館を楽しむ



びじゅつかん いちにちじゅう ひと
美術館に 一日中 いる人もいれば、

みじか じかん す ひと
短い時間を過ごす人も います。

ひとり ひとつの さくひん み ひと
また、一人で ひとつの作品をじっくりと見る人も、

だれかといっしょに さくひん み かん つた あ ひと
だれかといっしょに 作品を見て、感じたことを伝え合う人も います。

たの かつ ひと
楽しみ方は、人それぞれです。

たいせつ
大切なのは、わたしのペースで

びじゅつかん じかん たの
美術館での時間を 楽しむことです。

Social Storyとは？

「Social Story (ソーシャルストーリー)」とは、主に発達障害(神経発達症)の方と

その家族や関係者をサポートする社会学習ツールです。社会的な状況や行為などを、

絵や写真を使い、やさしい文章で説明します。当事者と関係者とが、

そのときの状況や活動内容などの情報を互いに理解し、安心できる状態をつくることを

目的としています。

横浜美術館では、発達障害の方をはじめ、美術館をはじめで訪問する方、

利用に不安を感じる方などが、どなたでも横浜美術館を楽しみながら

過ごすことができるよう、当事者や医療関係の専門家をはじめ、独立行政法人国立美術館

国立アトリサーチセンターの協力を得ながら、このストーリーを作成しました。

ストーリーでは、写真や文章で入館から退館までの様子が説明されています。

建物の内外でのルールを事前に知ること、見通しを持って、

安心して過ごす手助けとなるように構成しています。

横浜美術館のウェブサイトで、ソーシャルストーリーのデータを公開しているので、

訪問前にお使いください。ご来館をお待ちしています。

ウェブサイト <https://yokohama.art.museum/>



Social Story はじめて 美術館に いきます。

よこはまびじゅつかん
横浜美術館

編 集 よこはまびじゅつかん きょういくふきゅう
横浜美術館 教育普及グループ
担 当 おかざき さとみ ほっち ことおり もり みねく
岡崎 智美、發知 言織、森 未祈
監修・制作協力 どりつぎょうせいほうじんこくりつびじゅつかん こくりつ
独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター

デザイン スタビーデザイン
写真 新津保 建秀 (表紙、p 9)、加藤 健 (p 34)、
六島 芳朗

発行日 2025年3月25日

発行 横浜美術館

住 所 〒220-0012 神奈川県 横浜市 西区 みなとみらい3-4-1
電 話 045-221-0300





この Social Story は、国立アトリサーチセンター提供によるデザイン・フォーマットを元に制作されました。
Copyright © 2025 Yokohama Museum of Art / National Center for Art Research, Japan

